

2020 若手・新任役員研修交流会を開催！

+県内視察(役員向け)

川崎市の自然災害とコロナ禍の対応について共有をはかる！

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために延期となっていた「若手・新任役員 研修交流会」と役員向け「県内視察」を2020年9月18日(金)14時30分より労働会館とWEB配信において開催しました。

テーマは「川崎市の自然災害とコロナ禍の対応について」、参加者は会場に29名、WEB参加者は21名、講師・事務局9名が参加しました。



嶋田議長代行の挨拶後、館事務局長が、川崎地域連合の取組について説明を行いました。



嶋田議長代行

続いて、労金川崎3支店より、「コロナ禍でろうきんが力になれること」というテーマで、川崎大塚支店長、川崎南奥田支店長、中原鈴木支店長の挨拶後、川崎支店安藤代理より、「生活応援に資する

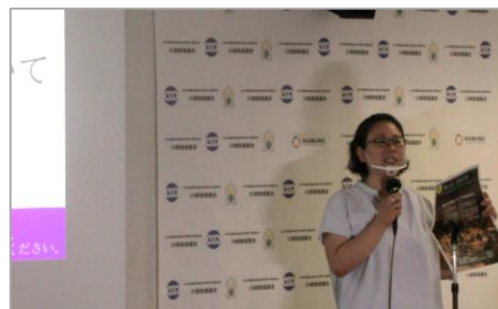
取り組みのご提案について」説明を受けました。

講演1は、「令和元年東日本台風とコロナ禍における避難所運営について」、川崎市総務企画局危機管理室 大村担当課長より台風19号による川崎市の災害対策や避難所運営についてお話しいただきました。



大村担当課長 (zoom画面右)

講演2は、「コロナ禍の自然災害対応について」、建設コンサルタントの上園様から日本全国の避難所運営に関わった経験から災害時の心構えや避難所の運営、過ごし方など裏話を交えてお話しいただきました。



上園様

